

私が一番の思い出に残っているのが FIS というものです。これは各生徒 2 人とそのホストファミリーと一緒に掛けたりするものなのですが、私たちのホストファミリーと、別のホストファミリーとの仲がよかったため、生徒 4 人、ホストファミリー 4 人の計 8 人で行動することが多かったです。私たちの FIS は毎週日曜日、教会に行くことが決まりでした。初めて教会に行ったとき、私の想像としては、オルガンを使った讃美歌を歌うのだらうと思っていたのですが全く別物で、ギターやピアノ、ドラムなどを使ったジャズっぽい歌で、皆で一緒に歌おうというものでした。毎週日曜日に教会に行っていたため、さまざまな出会いがありました。中でも一番仲良くなったのは 16 歳の男の子でした。彼は歌の時に前に出て歌う人たちの中の 1 人でした。彼の歌声はとても透き通っていて、初めて聞いたときはとても驚きました。また、彼は高校生であり、劇団に入っているためホストファミリーと一緒に劇を見に行ったこともありました。劇では彼は中心人物として大いに活躍しており、見事な演技を披露してくれました。その他にも FIS ではさまざまなことをしたり、出かけたりしました。

このようなアメリカに留学をするという体験は今しかできないことなのではないかと思います。私にとっては初めての海外だったのですが、不安も緊張も恐怖さも大いにありました。しかし、現地に行ってみると外国の方々の心優しい対応やパワフルさなどのおかげで自然とそれらに打ち勝つことができました。というのは、見知らぬ外国の方でも目があえば挨拶をしてくれたり、いきなり話しかけられて仲良くなったり、ドアも自分が開けて他の人が入るまで開けて待っていてくれたりと、とても優しい人ばかりでした。なので、外国の方々と共に盛り上がることができました。また、外国の方々の勉強・将来に対する姿勢や熱心さにも心が熱くなり、とても感心もて、自分も見習わなければならないところも沢山発見することができました。アメリカに来たことによって、様々な発見や異文化理解、考え方のちがいなど、新たなものをたくさん学ぶことができ、今後への進歩として活かせるのではないかと思います。この派遣留学制度を活用してよかったと心から思います。